

おわりに

◆今回ご紹介した岩堀さんのご意見は、議会で閉会日に行われた総務教育委員会の調査の席上でのものです。『現場の先生方の声を伺いたいのので、証人を紹介してほしい。』との依頼に応え、私の元同僚であった氏にお願いしました。理由は、現職の教員では「迷惑が掛かるかもしれないし、2年前に退職し、国内外で活躍中の彼女ならば『強い。』、『行政の顔色ではなく、子どもたちのことを見据えて述べてくれる。』と考えたからです。(間違いないかった!)

それにしても、私と同世代の同僚教員は、女性校長3名を含め、あちらこちらで大活躍中です。なぜか…。

思い当たる理由は『その時期の先輩方および地域の方々が育ててくださった』ということ。『女が生意気な』と叩き潰すことなく、温かく見守ってくださった上で『3つ叱って7つほめる』がごく接して頂いたからだと思ひ返されます。感謝と尊敬の念を捧げたいと思います。ではそうしたことが、いまの自分にはできているのか…と自問自答。

教員時代に関しては、教育研究所で小中学校の新採用教員の研修を担当させて頂いたので、次世代育成の気持ちのけじめはついていますが、問題は今です。『次の世代の女性議員を何とか見つけなきゃ。』と強く思っています。が難航中。

勝手ながら、これをお読みの皆様、もし適任の方のお心当たりがございましたら、是非ともご推薦をよろしくお願いいたします。

細川かをり県政報告

第35号

毎日見ても見飽きないのが田園風景です。日々変化する稲穂に見惚れたり、除草や水切り、稲刈りなど作業の苦勞を想像したり、実りに喜び、猿の食べ散らかしにあきれたり…。今回は、気にしている電気柵の電圧と水田雑草の話題からです。(^^)/

電気柵の電圧

イノシシ対策の電気柵は、4,000ボルト(4KV)以上の電圧が必要ですが、これを保つのがなかなか大変。

我が家の田圃周りを時々デジタルテスターで測るのですが、3,000ボルト未満の時がしょっちゅうです。

越前市農業公社の方のアドバイスでは、

- ① 雑草の接触で漏電している
- ② 電気柵の電池が弱っている
- ③ 電気柵本体そのものが弱っている

のいずれかが原因だろうとのこと。早速対処。県の担当部署にも注意喚起の呼びかけを要請しました。

除草ロボット!?

県では「環境にやさしい米づくり」の取組みを行っていますが、除草剤を極力減らすため雑草対策が大きな課題です。水田雑草は、総じて繁殖力旺盛で厄介です。

先日、越前市の農業者の方から「雑草別の除草」や「次世代型小型除草機械(AI搭載の除草ロボット)」に関するご意見・ご提案を頂きました。小型で稲へのダメージが小さいものです。難しい研究開発でしょうが、「除草ロボット」がヒエやコナギをパクパク食べながら田圃を走り回ってくれたらどんなにいいでしょう!

その夢が形にならないかと、県庁や農業試験場などを、走り回っています。

主な水田雑草
養分収奪力、繁殖力が強く、イネの収量を下げる。



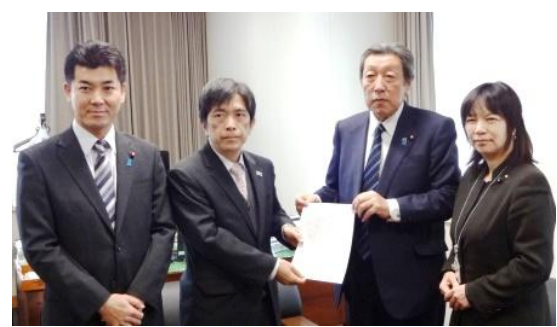
クサネム
黒い実がお米の等級を下げる。今が開花と結実期。小さいさやの中の種が怖い。

オモダカ
キツネの顔のような葉の形。白い花。

コナギ
葉っぱがハート形。

ヒエ
稲より背が高くヒエ抜きは重労働。

◆第34号の1面「川の絵図」の中で、「新堂」地区の漢字を間違えておりました。訂正とお詫び申し上げます。



内閣府防災担当政策統括官に、担当大臣あて「災害ボランティアの交通費に関する要望書」を提出

- 福井方式の災害ボランティア制度を説明。「良い制度」とお褒め頂きました。
- 故長島会長 (自民 衆議)
- 泉副会長 (民進 衆議)
- 若松副会長 (公明 参議)
- 谷理事 (自民 衆議)



細川かをり県政報告 H29.8
発行：福井県議会議員 細川かをり
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888

◆この県政報告を書いている最中に、「元山古志村の村長、長島衆議院議員死去」のニュースが入りました。言葉を失いました。長島さんは、私が事務局長をしている全国災害ボランティア議員連盟の会長だったからです。
議連は全国350名以上の議員ネットワークを結んでいます。地方議員から国会議員までで超党派という希な形態ですが、それは「現場第一」の方針と、国会議員の度量の広さ、そして何より長島さんのお人柄によるものです。
8年前、発起人として仲間とともに、山古志村まで、「是非とも会長に」とお願いに上がったのを思い出します。以来、我々の大きな大きな旗頭でした。本当に残念でなりません。
心よりお悔やみ申し上げます。



しっかり現場の話を聞いてくださいました

高校入試 英検加算問題！

昨年、県教育委員会が高校入試のテストの配点を下記の英検取得者優遇に変えると発表しました。

これまでの入試配点	今年度入試で加算
国語・社会・数学・ 理科・英語各 100 点 合計 500 点	英検 3 級 = 5 点 準 2 級 = 10 点 2 級 = 15 点

英検は（公）英語検定協会が行っている検定準 2 級・2 級は高校レベル。受験料は団体で 3400 円（3 級）～5400 円（2 級）

予算を伴うことではなかったのですが、県から議会への説明はありませんでしたが、多方面からの疑問のお声を受け、6 月議会では議会全体でその是非について議論しました。

けんけんかくかく

委員会調査で喧々諤々

（総務教育委員長）我々が調査をすると先生方は全員反対。英語の先生が「これほど馬鹿な話はない」と言う。でも教育委員会が調査をすると「何も問題がない」と言う。全く違うので異様だ。

（県教組）おそらく何級に何人合格したかの調査がある。学校の序列にならないか不安が付きまとう。

（委員）大学入試改革に連動する形でこのような改革をするというあり方は正しいのか？

（県教組）スピーキング強化の発想は間違っていないと思うが、義務教育の段階で大学入試まで考えることはない。

（塾館長）英語が独り歩きしてしまい、英語ができればそれでいいという風潮は間違っている。英語に慣れ親しむことは必要だが日本語が前提で両方必要。

（県教組）放課後に面接の練習をするなど教員負担が増加。試験監督など英語教員だけでは賄えず、他の教員にも負担増。施策 1 つ増えることで、多忙化問題も加速すると知っていたらとありがたい。

細川議会質問



議員が集める現場の声と教育委員会のアンケート結果が大きく違う。

私の経験では、教育委員会のアンケートは校長宛に出すのできつく歯向かったことを書けなかったり、締め切りが過ぎて手元に届くような場合は十分調べられなかったりした。

上から降ってくる決まったものに対して逆らっても無駄だとの思いもある。現場の本音がなかなか教育委員会に届かなかつたから私はいまここにいます。まず、そういうことを認識したうえで教育行政をやっていたらよかった。

（細）教育基本法第 4 条に「教育の機会均等」がうたわれている。だからこそ学習指導要領があり、検定された教科書がある。

今回の英検加算は高校レベルが対象で、中学校の指導範囲ではない。塾通いが必要となると経済的、地理的格差が出る。不公平をどうするのか？（教育長）本県の英語教師も生徒も優秀なので教科書を超えた指導も可能。中学生でも準 2 級以上の力が付くように支援している。受験料も補助。

（細）それはおかしい。学校の指導内容は綿密にある。福井の教育の良さは、個別指導が丁寧で、取りこぼしがないよう補修もやる。教科書だけでも時間はいくらあっても足りない。（教育長）教科書でいっぱいではない。白河文字学など教科書外のいろんな事をやってもらっている。（細）教科書外の部分をどう指導するか標準もない。学校間格差が出る。そこを入試加算するのは逸脱している。

高校や大学を卒業した後、どこで就職し、どのような大人になりたいかなどの議論をしないままに、どれだけ大学に合格したかと言う目先の結果のみにこだわっているのは危険。どの教科も大事だ。



◆岩堀美雪さん（元教員）
一般社団法人「子どもの笑顔」代表理事。「自己肯定感」を育む「宝物ファイル」を使った方法を実践。文科省や国連共同制作番組「ONE WOMEN」で紹介される。

他にも、今回の入試改革に反対する意見が相次ぎ、県議会は県に対して「県立高校入学者選抜制度の見直しを求める意見書」を可決。高校入試が中学校での学習を反映させるという大原則に反する。塾通いを奨励することになる。学習機会の格差を拡大させる等の理由とともに、トップダウン、関係者内部だけの検討・決定したことも問題としました。その後、教育長が交代し、英検加算の見直しが見直しがなされました。

高校生県議会でも！

学校で習わない部分で差がつくことに疑問を感じます。塾の英検対策が考えられますが、余裕のある家庭の子が有利です。英語が得意な子が有利で苦手な子が落ちやすくなります。不公平です。公立高校でやる必要はないと思います。教育委員会はこの制度によって英語能力を伸ばしたいようだけど、本来は 5 教科をバランスよく学習しなければならぬのに「英検に合格しなければ」と他の学習がおろそかになるかもしれません。受験料も高く、何度もうけにくいのです。

私たちはこの制度に反対です！



☆☆☆ あっげれ! ☆☆☆

配点
国語・社会・数学・理科・英語各 100 点
合計 500 点

※英検加算
英語の総合点数は、100 点を上限とする。
英検 3 級 = 5 点
準 2 級 = 10 点
2 級 = 15 点

すでに中 3 受験生は英検加算で動いているので、こういう落としどころになりました。学校で英検対策もやるとのこと。でも、私はまだ「よし」とは思っていない。